

平成30年度（2018年度）第1回まちづくりトーク

「逗子市立図書館のサービス目標 2018」について

逗子市立図書館
館長 安田清高

はじめに

逗子市立図書館の変遷

- 昭和24年1月 「逗子アメリカ図書館」
- 昭和25年7月 「逗子町立図書館」
- 昭和29年4月 「逗子市立図書館」



カマボコ型の建物が
米国から移管

昭和31年6月撮影

- 昭和31年10月 逗子小学校内に移転



- 昭和41年6月 新築開館



- 平成17年4月 新図書館開館



施設の概要（平成29年度実績）

	所蔵冊数	来館者数	貸出者数	貸出点数	予約点数
逗子市立図書館	203,538	530,570	197,325	443,420	64,622
小坪分室	12,803	-	16,798	37,908	8,280
沼間分室	11,547	-	10,334	21,836	5,482
合計	227,888冊	530,570人	224,457人	503,164点	78,384点

平成30年4月1日現在 推計人口 57,218人

市民1人当たりの貸出点数 8.79点

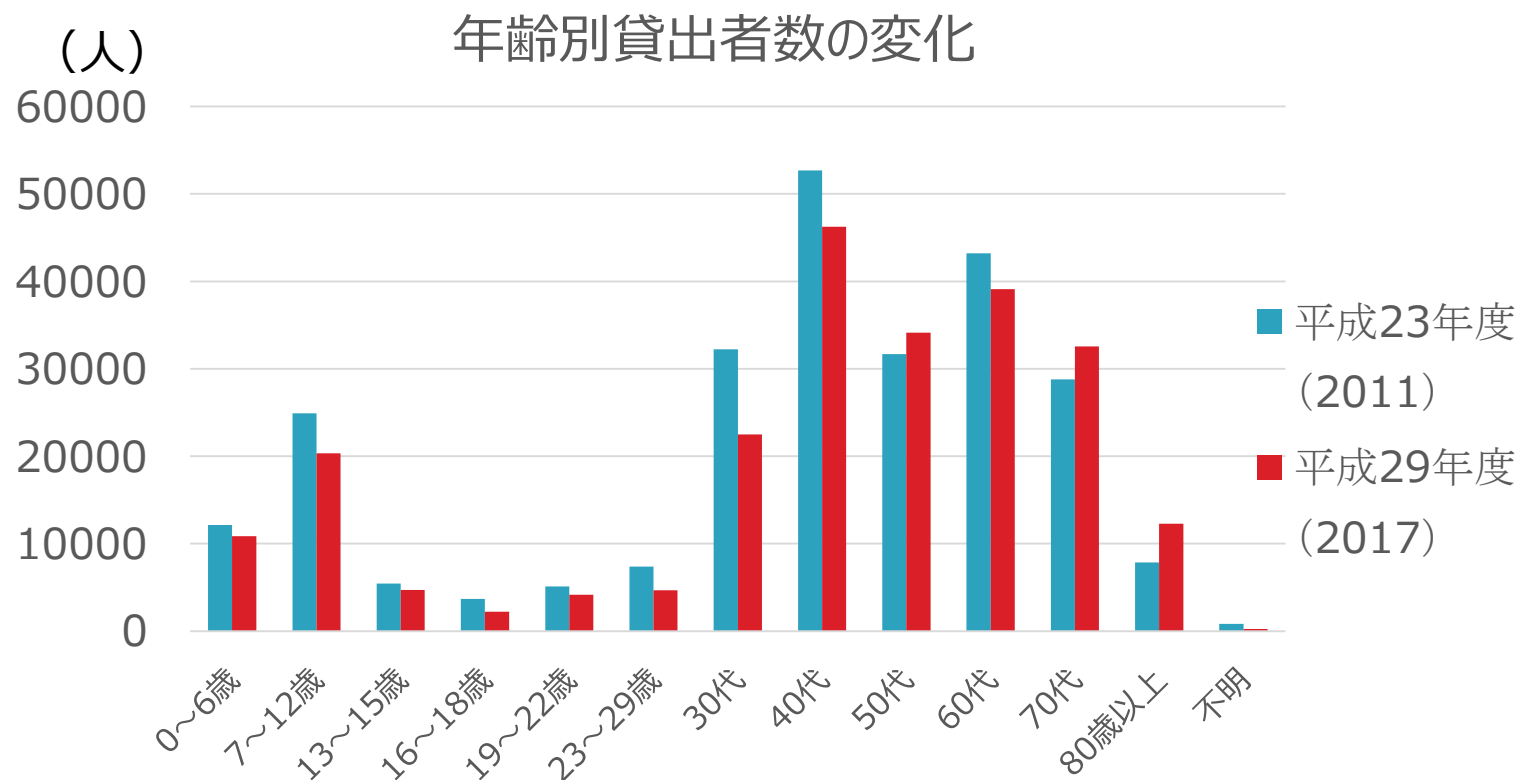
登録者数 43,714人

（市内:29,202人、市外:14,512人）

市民のみの登録率 約51%



サービス目標2011以降の利用の変化



- もともと低いYA層（10代）がさらに低下
- 30代～40代の利用減
- 70代以上の利用が増加



「逗子市立図書館のサービス目標 2018」

1. 図書館の使命

2. 目指す図書館像 5つの柱

- ① 読書の喜びを育み、豊かな情報源（情報発信基地）としての図書館
- ② 地域の文化を大切にする図書館
- ③ 子どもの読書を応援する図書館
- ④ 市民とともに歩み、市民を大切にする図書館
- ⑤ 居心地の良い、利用したい図書館



1. 図書館の使命

図書館は市民の多様な読書要求や課題解決に役立つ、地域の情報拠点・生涯学習施設としての役割が求められています。

地域の文化を支える「知の拠点」として、市民のくらしに役立つ図書館を目指します。



2. 目指す図書館像

①読書の喜びを育み、豊かな情報源
(情報発信基地) としての図書館

市民が知る、学ぶ、楽しむことができ、信
頼され、市民が育つ図書館を目指しま
す。



【資料の充実】

- 20年、30年先を見据えた蔵書構築（資料の保存と廃棄）
- 資料の充実（2,000万円台の資料費を維持）
- 多様な資料の購入（複本購入の制限、リクエストの精査、相互貸借の活用）、電子書籍の調査・研究



【レファレンスサービスの充実】

- 市民の課題解決のために多様な相談に応えます。
- 2階の専用デスクに職員配置、サービスの充実を図る。
- レフェラルサービス
(類縁機関の紹介)
の実施



【テーマ別展示の実施】

- ・ 市民の要望に応える企画展示の実施
（平成29年度 全館展示回数
一般68回／児童28回）

例「ゆるっと ふわっと のんびりと」
（9月13日～10月9日）

展示図書冊数 280冊

期間貸出回数 654冊

障がい福祉課連携

- ・ 自殺予防週間にちなんだ展示



【図書館間のネットワークの促進】

- 神奈川県図書館情報ネットワーク(KL-NET)

相互貸借による提供冊数

	借受冊数	貸出冊数
平成23年度(2011)	1,340冊	3,457冊
平成29年度 (2017)	1,667冊	2,761冊

- 国立国会図書館のデジタル化資料送信サービス(7月より実施予定)



② 地域の文化を大切にする図書館

自分が育ったまちの歴史を理解し、文化を大切にし、逗子市民であることに誇りを持ち、まちの未来を考える資料を収集、整理、保存して、いつでも提供できる図書館を目指します。



【地域情報の蓄積、継承、発信】

- 逗子を知り、調査研究の手がかりとなる資料や、質問に対応できる資料の積極的な収集、保存を進める。
- 記憶を記録する。地域資料の収集・整理・保存・提供



【地域情報の蓄積、継承、発信】

- 地域情報のレファレンス事例集の充実
- 三浦半島地区公立図書館と連携・協力
- 逗子市のゆかりの作家や文化人、逗子が出てくる作品の継続的収集
- 小坪・沼間の各分室を地域情報拠点として、地元の資料・情報を収集



③ 子どもの読書を応援する図書館

子どもに読書の楽しさ、大切さを伝え、本に出会うための環境をつくり、読書活動を推進するための体制整備を進めます。



【重点的な取組み】

- ・ 第二次逗子市子どもの読書活動推進計画（平成30年度～34年度の5年間）の推進
- ・ ファーストブック事業の実施（4か月児健診の際に行う読み聞かせ等の啓発）
- ・ ヤングアダルトサービス
- ・ 学校図書館との連携



④ 市民とともに歩み、市民を 大切にする図書館

子どもから大人まで全世代にわたる市民がより質の高いサービスを受けられるよう、また、地域差、障がいの有無によらず、誰もが自由に利用できる図書館を目指します。



【高齢者サービスの取組み】

- 資料面（大活字本、録音図書、文庫などの提供）
- 情報（高齢者が望むサービス調査、対応職員の配備、事例集の作成）
- 読書会、朗読会、地域・郷土史に関するテーマ別講座



【高齢者サービスの取組み】

- ・ 高齢者施設でのお話会・読み聞かせ、回想法の実施、及び資料提供を行う。
- ・ 既存の健康医療情報コーナーの一層の活用
- ・ 市内の医療機関、国保健康課、高齢介護課との連携



【障がい者サービスの展開】

- ・ デイジー図書、録音図書の収集と提供
- ・ 郵送サービスの実施

障がい者郵送サービス実施数

	登録者数	貸出件数	貸出冊数
平成23年度(2011)	10人	6件	7冊
平成29年度(2017)	14人	38件	60冊

- ・ 既存のボランティア団体の調査と連携
- ・ 療育教育総合センターとの連携



【子育て支援】

- 子育て支援課との連携強化
- 子育て支援情報コーナーの充実
- 子育て支援センター等でのわらべうたの会実施
- 親と子の読書普及への取組み
- ファーストブック事業の実施
（4か月児健診の際に行う読み聞かせ等の啓発）



⑤ 居心地の良い、 利用したい図書館

多くの市民が図書館に気軽に足を運び、本に親しみ、落ち着いて読書ができ、読書の喜びを感じることが出来る図書館を目指します。



- 新たな情報機器の対応
- 分室での積極的な図書館サービスの提供
- 観光協会との連携事業の実施
(逗子市の観光PRや地域の商業振興、観光スポットを図書館から情報発信。地域の商店街の情報収集と発信)
- 図書館に関する情報の積極的な発信





ありがとうございました。

